

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 53番
- *交読文 …………… 1番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 175番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 484番
- 聖餐式 …………… 賛美281番
- メッセージ …………… ロト - 異常な価値観に染まった”義人”(創世記 19:1-11)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 464番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____は神の協力者であり、____は神の畑、神の建物です。・・・どのように建てるかについては____が注意しなければなりません。というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。もし、____がこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、わらなどで建てるなら、____の働きは明瞭になります。その日がそれを明らかにするのです。というのは、その日は火とともに現われ、この火がその力で____の働きの真価をためすからです。もし____の建てた建物が残れば、____は報いを受けます。もし____の建てた建物が焼ければ、____は損害を受けますが、____自身は、火の中をくぐるようにして助かります。(2コリント 3:9-15)

前回、主は3人の旅人の姿でアブラハムとサラに現れ、彼らはイサクを生み出す者として信仰が整えられたが、主はさらに、これから為そうとおられる事を、アブラハムに明かされた。すなわち、ソドムとゴモラの大きな罪は、御前に届いており、その町が滅ぼされるに値するかを、これから見に行く、というものであった。アブラハムは、主と交渉した。その町に、正しい人がいたとしても、その町を滅ぼされるのでしょうか、主は公義を行われるお方ですから、そのような事はありませんよね、と。主は彼の交渉に応え、滅ぼすまいと約束された。アブラハムは最初、50人から始めたが、最後には、たとえ正しい人が10人しかいないとしても、主はその町を滅ぼす事はしない、という所までこぎつけた。彼はこのようにして、主に執り成した。私達も、信仰者の集いから離れてしまっている兄弟姉妹のために、執り成すべきである。信仰が萎えてしまっている兄弟姉妹を執り成す祈りは、彼らをここぞという時に守る大きな力となるからだ。

さて、二人の御使いがソドムに着いた時、ロトが門のところに座っていた。町の門は裁判や商取引などが行われる所で、彼が門の所に座っていたという事は、彼はソドムの町でも有力な地位にあった、という事だろう。ソドムの王も住人も皆、かつてはロトの叔父・アブラハムによって救われたので、ロトはきっと、叔父アブラハムの七光りでそのような良い地位に就いたのだろう。あんな目に遭ってもまだ懲りず、ソドムは邪悪な行いを改めず、ロトもまた、その町の栄華に浸って離れなかったのだ。ロトは義人としてソドムの町の放縦な行いを悩みつつ生活していた(2ペテロ 2:7)。しかし、その邪悪な町から抜け出さずに、町の有力者にまで上りつめていた。ここに、神の基準を知りつつも、世の栄えにも目が眩んで、世の基準からも抜け出せないでいる「ダブルスタンダードのクリスチャン」の葛藤を、写し見る事が出来る。また、そのような歩みをしているクリスチャンの受ける分と、行く末も、知る事が出来る。結論を言うと、そのような人は結局全てを失ってしまい、ただ命だけを救うのみとなる。(2コリ 3:9-15)ロトが彼らを見た時、アブラハム同様、彼らを客人として丁重にもてなそうと、自分の家に泊まるようにきりに勧めた。ロトは二人をもてなしていたが、彼らがまだ床に就かないうちに、ソドムの町の男たちが、若者も年寄りもこぞって押しかけ、家を取り囲んでわめきたてた。「今夜おまえの所にきた人々はどこにいるか。それをここに出しなさい。われわれは彼らを知るであろう。」(創世記 19:4-5)ソドムの住人は、ハムの末裔である。ハムは、父ノアの天幕にずかずか入り、父が酔って裸で寝ている様を見入り、性的な秘密を楽しみ、出て行って皆を連れて来て、皆でその”楽しみ”を共有しようとしたが、その汚れた性質が、もっと悪い方へとバージョンアップしている。ノアは、そのような事をしたハムの子孫を呪ったが、同じように、主に遣わされた者を辱めようとする者達は呪われ、その行き着く所は、滅びである。

ロトは、町の男達をなだめるために、信じがたい提案をした。なんと、自分が大切に育てた未婚の娘二人を、好きなようにして下さい、その代わりに、客人には手を出さないで下さい、というのだ。人は、居着いている所の風習に染まるものである。狂気の時代、狂気の場所に住んでいると、普通の人には狂気に見えるような事さえ、普通に思えて来てしまうものである。実際、今日の日本は、このソドムに似たような考えが社会通念としてまかり通って来ている事に気づいているだろうか。皆さんは、性的不品行が平気で横行している事のみならず、世間の面目や会社の立場を保つために、妻や夫を、息子や娘を犠牲にする事が、普通にまかり通っている事に、異常さを感じているだろうか。私達は、命に敵対する世の価値観が迫って来る時は、御言葉を示し、妥協する事なく戦うべきである。そうでないと、塩気のない塩のように外に投げ出され、世からも、神からも踏みつけられてしまうだけである。それ以前に、ロトはさっさとそんな町からは離れ、アブラハムと交わりが持てる所に住んでいれば良かったものを、それをせず、多少罪に汚れていても、楽しそうな榮えている都市に住み着いて、神の交わりから離れ続けていたから、そんな異常な価値観となってしまう、苦汁を舐め続ける生活に陥ってしまったのだ。主はそんなロトを、助けて下さった。ひとえに、信仰者アブラハムの執り成しがあったからである。聖徒の交わりから離れてしまっていると気づいたなら、また世の汚れた価値観に染まってしまったと知ったなら、すぐに戻るべきである。ダブルスタンダードの価値観は捨て去り、御言葉にしっかりと留まって世に妥協せず、キリストにあって戦い、勝利する皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

